



平成30年9月5日

各位

会社名 株式会社稲葉製作所
代表者名 代表取締役社長 稲葉 明
(コード：3421、東証第一部)
問合せ先 上席執行役員経理部長 武田 浩
(TEL. 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年3月12日に公表した平成30年7月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年7月期通期（累計）の連結業績予想数値の修正（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,600	10	250	55	3.13
今回修正予想（B）	32,631	399	669	408	23.23
増減額（B－A）	1,031	389	419	353	
増減率（％）	3.3	－	167.6	641.8	
（参考）前期連結実績	31,548	678	889	571	32.54

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高及び利益は前回発表の業績予想を上回る見込みであります。

個人消費の回復を受け、年度後半の鋼製物置販売が堅調であったことに加え、製品価格改定前の駆け込み需要もあり、鋼製物置事業の売上高は計画を上回る見込みであります。また、オフィスの移転需要やリニューアル需要の増加や働き方改革への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりの動きを受け、年度後半のオフィス家具販売が大きく伸長したことから、オフィス家具事業の売上高は計画を上回る見込みであります。

当連結会計年度においては、材料・エネルギー・運送コストなど、製造に関わる費用が断続的に上昇いたしました。しかしながら、売上高が計画を上回ることによる売上総利益の増加に加え、生産性の向上並びにコスト削減により、営業利益、経常利益は計画を上回る見込みであります。また、特別損益は減損損失が減少し、計画を上回る見込みであります。これらの結果から、親会社株主に帰属する当期純利益は、計画を上回る見込みであります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上